

文園みんなのスタンプラリー 文園町会

7月17日(土)に「文園みんなのスタンプラリー」を開催しました。コロナの影響でいくつもの町会行事を断念した昨年。今年こそは何かできないかとオンラインで何度も話し合い、課題を乗り越えようやく実現したスタンプラリーでした。

景品交換日当日の密を避けるため、2週間前からスタンプを設置しました。掲示板にスタンプと町会にまつわるクイズを設置することで少しでも町会へ興味を持ってもらえるようにしました。参加者の方にはマスクの着用、アルコール消毒等にご理解とご協力をいただきました。

開催にあたり大きな不安がありました。たくさんの方にすてきな企画をありがとう、家族で楽しんだ、などと声をかけていただきました。



挑戦する力が試されるコロナ禍でのイベントですが、今回はやって良かったと言えるものになりました。

文園子どもと共に進む会
会長 青柳 まゆ子

安否確認訓練をしました 昭三自治会

日本は地震大国と言われており、首都直下型の大地震もいつ発生するかわかりません。災害発生直後は国・都・区による公助が機能しないことが想定されることから地域の皆さんの力を結集した「共助」が大きな助けとなります。そのような背景から7月11日(日)に昭三自治会は昭和・東中野地区民生児童委員協議会の協力のもと災害時に本人と家族の力だけでは避難が困難な方々を対象に「安否確認」の訓練を実施しました。この「安否確認」とは、大震災発生時に町会・自治会の防災会に対して、「避難行動要支援者名簿」に登載されている地域の皆様の安否を確認することを、災害対策基本法が定めていることに拠ります。コロナ禍で地域活動が例年通りにできない状況が続いておりますが、「共助」には地域の皆様の力が必要です。これからも昭和地域一丸となって防災対策を進めてまいります！

昭三自治会 防災部長 立石 りお



第76回“社会を明るくする運動”保護司会

“社会を明るくする運動”の一環として、今年も7月10日(土)に中野東中学校1年生を対象に、弁護士による「いじめ問題と人権」についての講演を行いました。生徒たちは「深刻ないじめ被害は依然としてなくなっていない」「いじめは人権(安心、自信、自由)を侵害するものである」「いじめられていい子は一人もいない。誰にもいじめられる権利はない。許されるいじめは一切ない」、などの話を、真剣な表情で聞き入っていました。大人としては、子どもたちが逃げ込める場、助けを求められる環境を整えることが大切であることを学びました。

分区分長 阿部 謹一郎



文園児童館

☎ 03-3367-8106

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、下記行事は中止または変更する場合があります。詳しくは児童館おたより、館内掲示または職員に直接確認してください。

文園児童館まつり「ふみぞのランド」について

☆今年度の「ふみぞのランド」は中止いたします。代わりに(仮称)「ふみぞのイベント週間」を秋に実施する予定です。

- 実施予定期間・・・11月24日(水)～12月1日(水)までの1週間
※28日(日)、29日(月)は休館日です。
- 実施内容・・・午前中は乳幼児親子が、午後は小学生がそれぞれ楽しめるイベント週間を予定しています。

第8回中野区検定

後援:中野区 中野区教育委員会

- 1.日時: 令和3年11月28日(日)
 - 2.場所: 中野区産業振興センター(中野区中野2-13-14)
 - 3.内容: 中野区に関する歴史、地理、文化、産業などから出題
一般の部 50問、60分、年齢制限なし
ビギナーの部 30問、45分、年齢制限なし
＜一般で受検し高得点者は「ものしり博士」と認定＞
 - 4.申込期間: 10月1日(金)～11月15日(月)
 - 5.受検料: 検定実施日に支払い
上記受検料 一般の部 1,500円・ビギナーの部 300円
(高校、大学、専門学校生 1,000円・小、中学生 500円)
 - 6.申込方法: FAX、メール、郵送、電話で、下記中野区教育振興会あて
- ＜お問合せ先＞公益財団法人 中野区教育振興会
TEL:3228-5544 FAX:3385-9319
メール: bz720662@bz03.plala.or.jp



昭和高齢者会館 (遊・和)

☎ 03-3367-0813

【体力づくり教室】

筋力&ストレッチで健康寿命を延ばそう!
日時: 毎月第1・3火曜日午後1時30分～3時

【神山山緑の講談はじめの一歩】

真打の山緑さんに、講談にまつわるお話と一席語っていただきます。
日時: 11月11日(木)、25日(木) 午後2時～2時45分
各回とも1週間前に申し込み開始(抽選で17名、65才以上)

※申し込みは電話または直接昭和高齢者会館へ。
状況により日程・内容など変更する場合があります。



運営委員会だより

◇第45回昭和高齢地区まつり◇

- 作品展** 10月15日(金) 13:00～16:00
10月16日(土) 10:00～16:00
10月17日(日) 10:00～12:00

屋外行事 10月17日(日) 10:00～12:00



昭和高齢地区活動センター

桃園第二小学校 校庭
(雨天中止)

※新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、実施する予定です。
※記念品がもらえる**スタンプラリー**を実施します。詳細はHP、ポスターで。

すてっぴサロン・すてっぴクラブ は10月までお休みします。

「誤」荒山 幸次郎昭二町会、「正」荒山 幸次郎昭二町会会長



選手村のスリーアギス



選手団長(アルメニア・パラリンピック委員会会長)と

昭和地域二コース41号の2面、令和3年度運営委員会役員の名の欄の肩書が抜けていました。訂正いたします。

「誤」荒山 幸次郎昭二町会、「正」荒山 幸次郎昭二町会会長

オリンピックとして参加したパラリンピック

上高田二丁目在住 佐藤 清一郎

うしろの正面

オリンピックに続き、コロナ感染拡大の中で開催されたパラリンピック。今回、各国のパラリンピック委員会(NPIC)アシスタントの一員として、アルメニアを担当しました。皆さんはアルメニアという国をご存知ですか? アルメニアは旧ソ連を構成していた共和国であり、カスピ海と黒海の間を広がるコーカサス山脈の南側、トルコと国境を接し、人口300万人の国です。現在はトルコ領ですが、ノアの方舟が漂着したとされるアララト山が、アルメニア民族のシンボルでもあります。

さて、アルメニアは車椅子100m(T54)に出場する選手一名とスタッフ三名の選手団として来日しました。開会式当日の朝七時半に成田に到着後、PCR検査や手続きが長く続き、私ともう一名のアシスタントが合流できたのは午後三時。選手村から開会式へ向かう集合時間が三時五十分とのことで、その間にブレザーにエンブレムを縫い付け、ワイシャツとズボンにアイロンを掛けたいという要望を聞き、私はアイロンを担当。結局、三十分遅れで開会式へと送り出し、団長からもらったアルメニアの小旗を手に、自宅のテレビで開会式の入場を凝視。アイロンを掛けた服を着用している四人の姿を見ていると、不思議なもので一緒に参加しているような気分になっていました。

同僚のアシスタントの方が「オリンピックの時ほどの選手も自分がNo.1!という雰囲気だったけれど、パラは和やかね」と口にされましたが、障がいの度合いも様々な選手たちが行き交うパラ選手村では、選手たちの歩調もゆっくりで、風の流れが穏やかであったと思います。

競技結果としてアルメニアの選手は予選敗退でしたが、遠い日本まで来て、参加してくれただけで感謝。「担当国の選手たちが、パラを開催してくれたことに感謝してしました」というメッセージが、アシスタント用のLINE上で交わされましたが、そのような選手たちに、会場で大きな声援を送ることができる状況での開催が叶わなかったことだけが、とても残念な思いです。